

No.	主な御意見等	回答・対応
1	<ul style="list-style-type: none"> 第6次行財政改革大綱の進捗について、コロナの関係もあり、会議が行われていなかったため、どのような状況か全くわかりませんでした。土浦市の財政がコロナでどうなったのかを含めて、説明をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 第6次行財政改革大綱の進捗については、報告できていませんでしたが、5年間の実施状況を資料2としてまとめました。詳しくは第2回の議事(1)「第6次土浦市行財政改革大綱実施計画の成果等について」でご説明いたします。
2	<ul style="list-style-type: none"> 資料3で、第6次行財政改革大綱の大項目6項目を集中改革プランでは4項目にするとありますが、今の計画の取り組み6項目がどうだったのかを示して頂かないと、次こうしたらいいという案が出てこないため、今の計画の取組状況を示して頂ければと思います。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 資料2の8ページと第6次行財政改革大綱の10ページでは、同じ公共施設改修・更新費用のグラフなのに差額が少なくなっている理由はなぜでしょうか。計算の方法が違うだけですか。 	<ul style="list-style-type: none"> 第6次行財政改革大綱では平成27年度に策定した公共施設等総合管理計画を参照しており、第1回会議の資料2では令和3年度の改訂版を参照しています。 また、第6次行財政改革大綱では施設を60年で単純更新した場合のグラフを掲載しており、第1回会議の資料2では長寿命化した場合(施設に長寿命化工事を実施し80年使用した場合)のグラフを掲載しているという違いがあります。そのほか、計画を改訂するまでの施設の増減や、改修工事の実施があったことにより、金額に違いが出ております。
4	<ul style="list-style-type: none"> 資料2の3ページに行財政改革の取組効果が出ていますが、3年間で約27億、年間で9億の取組効果が出ているとあり、8ページでは今後の公共施設の改修・更新費用が年平均27.7億で、直近の投資平均額プラス10.7億追加が必要と書いてありますが、毎年10.7億が必要のうち9億は行革の取組みで捻出できるという理解でよいですか。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回の資料2の3ページの取組効果額は、行財政改革の効果額を算出したものですが、生みだした費用は他の事業を行う費用として計上していることから、そのまま公共施設の改修更新費用として使える金額というわけではありません。

No.	主な御意見等	回答・対応
	<ul style="list-style-type: none"> また、6ページの歳入・歳出額を見ると、黒字路線となっており、毎年9億ずつ削減の成果が出せれば、残りは1.7億となります。また、9ページの職員の残業時間について、時間数から考えると、4億円程度の人件費がかかっていると推測できますが、デジタル化の努力によって、残業時間を3分の2とかにできれば、10.7億はそれほど恐れる数字じゃないと思いました。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の改修工事に年間あと10.7億円あれば施設を維持できるという話ですが、これは、今ある公共施設をすべて保有した場合の費用だと思うので、必要ではない施設の削減もお願いします。 都和南小学校ですが、2～3年前に和式トイレを洋式トイレに入れ替えたばかりなのに、リノベーションを行うという話を聞きました。作ったばかりのトイレを壊すのはどういうことなのかと思います。工事の順番や保護者への説明は、今後徹底して頂けるとありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の適正配置については、別途進めており、令和37年度までに延床面積で3割削減するような目標を立てております。できるだけ市民の方に支障がないような形で進めていければと考え、取り組んでいます。 ご意見の学校については、長寿命化工事を行う予定ですが、前回改修した部分は除いての改修を行う予定です。今後は、そのような誤解を受けないよう、周知を徹底してまいります。
6	<ul style="list-style-type: none"> 委員長の挨拶のなかで、財政の削減だけでなく、どこかに投資が必要という視点も大事だと思いました。土浦市にもいろいろな魅力があると思うので、その辺りをやっていただける体制や取り組みを期待しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 第6次行財政改革大綱では、行財政改革に関する取り組みを網羅的に位置づけていましたが、今回策定する集中改革プランでは、組織横断的に行い、効果をあげられるような取り組みを行うことを想定しています。具体的な内容は、資料3に掲載いたしました。

No.	主な御意見等	回答・対応
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行財政集中改革プラン(仮称)の大項目4項目がなぜ出てきたかという説明があったら良いと思います。 ・ 過去がどうだったからこれからどうするということに加えて、同じような状況にある他市がどのような新しい行財政改革に取り組んでいるかということと比較して、土浦市がどうしたいかを考えることが重要だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行財政集中改革プラン(仮称)の4項目は、第6次行財政改革大綱を基に、取組みの視点(案)、第9次総合計画において行財政改革の視点で進めるべきとされた項目(基本目標、政策方針)を考慮して作成いたしました。 ・ ご意見を基に、市の過去の取組みや他市の事例等を比較し、今後取り組むべき課題をまとめました。詳しくは第2回の議事(2)「行財政集中改革プラン(仮称)の骨子について」でご説明いたします。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に目標を立てる際には、受け手が感じられるような目標を作らないといけないと思います。例えば、道路1km作りました、では市民のメリットが分かりにくいので、中心市街地まで何分早く行けるようになりましたなど、具体的なメリットとして仕様を立てないと市民が評価しづらいと思います。なので、66項目に代わる目標の立て方は重要だと思います。66項目に代わる目標はこの会議の場で議論ができますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行財政集中改革プラン(仮称)は、取り組むべき課題を列記したうえで、喫緊に取り組むべき課題、複数の課題に効果があると考えられる取組みとして「重点取組項目」を4つ作成いたしました。詳しくは第2回の議事(2)「行財政集中改革プラン(仮称)の骨子について」でご説明いたします。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行財政集中改革プラン(仮称)にサービスの向上とか効率的・効果的という言葉が入っているので、資料3下部の※2にあるとおり、データ分析、ICT、DX を活用した方が良いと思います。初期費用は掛かりますが、職員の残業も減りますし、市民の方々もその恩恵を受けられるようになると思います。その辺りも次回以降、具体的なものを頂けると、私たちも考えやすいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行財政集中改革プラン(仮称)の重点取組項目に記載させていただいた、業務のプロセスの見直しでは、現在行っている業務を整理したうえで、機械ができる部分は機械を活用し、そこで削減した時間で市民サービスの向上にあてる、という取り組みを行うことを想定しております。

No.	主な御意見等	回答・対応
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が何を望んでいるかを本当に聞いているのかというのに疑問があります。市民満足度調査、市議会での質問、窓口での苦情など、いろいろと市民の意見を聞くことはあると思いますが、本当の市民のニーズをまとめられているのかと疑問に思っています。市議会での意見や、マスコミに載った大事件、声の大きい方の意見に影響されてしまっていることが多いと思いますが、市民の本当のニーズを把握するためには、デジタルを活用し、「ものを言わない多数派」の意見を聞くことが有効だと思います。 ・ きちんとしたニーズを把握できれば、市民満足も高くなるし、税金の支出も抑えられる。そこはデータが活用できる部分だと思います。今までの市民の声の受け止め方だけで政策を決めるとするのは時代遅れになりつつあるので、気をつけてもらいたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民アンケートを取る際、従来は郵便での回答のみであったところ、数年前からはウェブ上からも回答できるようにしております。また、パブリックコメントについても、昨年度から回答フォームからご意見いただけるように変更しております。 ・ その他の市民ニーズの把握方法につきましては、今後研究してまいります。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者もかなりスマホを持っていますが、操作ができないというのが残念なところで、講座を2～3回やっても足りないと思います。携帯電話会社等は高いのかもしれないので、ボランティアをお願いするなどして、一番先にやらなければならないことかと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアについても、土浦市デジタルサポーターという名称で募集しております。一般の方や、専門学校にも申し込んでいただいている状況であり、スマートフォンの操作方法講座は定期的の実施していきたいと考えております。

No.	主な御意見等	回答・対応
12	<ul style="list-style-type: none"> データを分析しながらいろいろなことをやりますとあるんですが、実際にどういうデータを分析されているかが見えてきませんでした。電子的な手続き等で、市民に感じて頂けているようなものはありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度、土浦市 DX 推進計画を策定し、スマートフォンから手続きができるよう、行政手続きのオンライン化などを進めています。 また、市民の方が実感できるような部分としては、スマートフォン操作方法講座も実施しており、好評をいただいております。
13	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化を進めて、ホームページからいろいろなことが出来るというだけでは寂しいので、データ解析、データ分析までやって頂きたいと思います。実施した内容だけでなく、どのように行財政改革に反映したかを明らかにしてほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化しても使われなければ何の意味もないので、その部分の検証も含めて実施したいと考えています。
14	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化は、人間のためのデジタル化なので、デジタル化の為に苦労して何にもならなかった意味がなく、大切なのは職員のスマイルだと思います。職員が楽しく、楽になると市民サービスが向上するという循環があり、市民が楽しく豊かに生活できるようになると思います。 デジタル化の時にやってはいけないことは、BPR(業務プロセス改善)を担当課に投げることで、現行業務に追加して負荷がかかるため、成功しないことが多いです。デジタルトランスフォーメーションをする際には、予算をかけて、業務分析と業務の見直しを徹底的にやると楽になると思います。また、書類と使う人の位置を見直したり、書類の整理をすることも重要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな仕組みを導入すると、当初はある程度手間がかかることが想定されますが、次第に楽になっていくと考えています。担当課と行革デジタル推進課でうまく役割分担を行い、担当課に大きな負担を掛けないような実施方法を検討したいと考えています。

No.	主な御意見等	回答・対応
	<ul style="list-style-type: none"> 職員や市民を苦しめてやる行財政改革は意味がないと思います。集中改革プラン(案)の4番目にある、人材育成・職場環境の改善が重要で、これを徹底することで1番目の市民サービスの向上につながると思います。 	
15	<ul style="list-style-type: none"> 土浦市の財政は悪くないとのことなので、やはり職場環境を改善しないといけない。環境が良くないと人が集まってこないの。説明で残業時間の話がありましたが、人員削減して残業時間が増えては本末転倒なので、残業代をはらうより人を増やした方が良いと思います。 市民サービスの向上の為に、活動を増やすと負担はどんどん大きくなります。効率的に行うためにも職員の働きやすい環境が必要だと思います。また、追加するためには取捨選択しなくてはならない部分もあると思うので、我々もアドバイスできればと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 重点取組項目のうち「業務プロセスの見直し(BPR)の実施」では、業務の効率化、業務量圧縮による時間外の縮減、政策的な検討の時間確保なども含めて効果が期待されます。
16	<ul style="list-style-type: none"> 土浦市の職員は皆さんスマイルでやっていると思います。ただ、個人のスマイルに頼っている気はします。 人材育成も大事だと思いますし、職員が社会的な勉強をしてきたりする機会もあると良いと思います。 	
17	<ul style="list-style-type: none"> 最近、人材の「材」を「財」に変えている例が多いので、これから作る書類は「人財」としたほうが良いかと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見踏まえて、基本方針(案)の4を「人財の確保育成、職場環境の改善」といたしました。

No.	主な御意見等	回答・対応
18	<ul style="list-style-type: none"> 資料2の11ページに、行財政集中改革プランは重点改革項目について、年度ごとの進捗状況、成果を報告するとありますが、作った後、この会議を開催して、年度ごとにそれがどのような進捗にあるかを報告いただけると理解してよいですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見のとおり、年に1回報告することを想定しています。